

[平成 29 年 4 月 6 日実施]

## 入学式「校長のことば」

神奈川県立秦野高等学校長 神戸秀巳

364 名の新入生の皆さん、そして保護者の皆様、本日はご入学おめでとうございます。  
秦野高校は平成 28 年に創立 90 年（草創 130 年）を迎えました。10 月に実施した「創立 90 周年記念式典」のあいさつの中で、私は、次のように話しました。

**良き伝統を引き継ぐことは当然ですが、その一方で、全国や世界の動向を見据え、未来を担い支える人間を育成するため、生徒たちにはこれからも『誰のために？』『何のために？』と問いかけを続け、「不易（ふえき）」と「流行」を踏まえた教育を着実に実践しつつ、引き続き「新たな伝統づくり」に取り組んでまいります。**

**秦野高等学校が立地する地域への貢献をもっと大きなものにしていきたいと考えています。地域住民、地域の小中学校・大学、秦野市などとの積極的な連携をさらに進めることで、教育の分野にとどまらず、地域防災、人間育成や地域を元気にするコミュニティデザインにおいても貢献できることはたくさんありますので、一層の前進を続けます。**

秦野高校は、間を置かずに、この 4 月から、「プレ百周年事業」に取りかかり、秦野高校としての「あるべき姿」「夢」「理想」を追い求めてまいります。そのキャッチフレーズが「**全国から世界のステージへ 大きく羽ばたく秦野高校**」です。「文武両道・質実剛健の確かな実践と推進・進学実績の向上」を着実に進めるため、「国際交流の推進と活性化」「全国の高校とのネットワークづくりの推進」「生徒の主体的活動に向けた学校・P T A・同窓会・地域との連携」「部活動の活性化と全国との活動交流の促進」の 4 本の柱を立てました。

私たちの前にいる生徒は「未来」です。教育の職にある私たちには、教えるだけではなく、「人を育てる」使命があります。「あたりまえのことがあたりまえにできる人間」を育てることに加えて、「何をすべきかを自らの頭で考え、心で感じ、自らの責任で判断し、自分の言葉で表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓いていく人間」を育てなくてはなりません。そのためには、「ダメなものはダメ」と言い続ける矜持を保たなければなりません。「時代の流れだから仕方ない」とあきらめていては、然るべき未来はやってきません。私たちは保護者の皆様や地域の皆様と力を合わせ、「人を育て」「未来を育てる」喜びを分かちあいたいと考えています。

昨日の始業式で、2・3 年生 720 名に、フィギュアスケートの羽生結弦選手が世界選手権で逆転勝利したインターネットの記事を紹介しました。『この記事で私がどんなメッセージを皆さんに伝えようとしているのかを考えてほしい』と言いながら。新入生の皆さんにもぜひ考えてほしいので、ここで一部を読み上げます。

**記事では、今シーズン途中で羽生が 4 回転ループに挑戦し、その 4 回転ループも含めた 4 つの 4 回転を組みこむフリーの難しいプログラムに当初、コーチが反対していたという事実を明らかにした。**

「4回転ループと4度の4回転を加えるとき、我々は彼に聞きました。“あなたには本当にこれが必要なのか”と。4回転ループと3度の4回転ではいけないのか?と。」

コーチがそう投げかけると、羽生は拒絶したという。

「“このスポーツを押し進めたい。自分自身をもっと高めたい”と。」

コーチ陣からすれば、やはりミスを冒すリスクを減らしたい、しかし、羽生にそういうネガティブな発想はなかった。

記事では、羽生が試合後に、「科学的なことでは、人間は5回転まで飛べるらしいです」と、5回転ジャンプについて話したことも取り上げた。

秦野高校の校長として、私は「学校経営の方針」に、「できることは何でもやる学校」「調子に乗っている学校」「動きの見える学校」を掲げています。そして、秦野高校の「教育活動の柱」として、文武両道（本気で「二兎を追う」教育の追求）、凡事徹底（あたりまえのことがあたりまえにできる人間の育成）、地域貢献（地域との連携を強化した地域の教育力向上と地域活性化への貢献）の3つを掲げています。

ここにいる皆さんが「秦野高校に入学して良かった」と満足のいくよう、私たちは「チーム秦野」の仲間として、皆さんのサポートに一生懸命取り組んでいきます。皆さんも、「前進のためのキーワード＝本気、実践、気づき」を心に留め、面白がって、自らの意思で、自らの力で、一步を踏み出し、高校生活を精一杯楽しんでください。

最後に、皆さんへの激励の気持ちを込めて、昨日の始業式でも2・3年生たちに伝えた言葉を皆さんに贈ります。人種差別の解消を求めた運動の指導者で、ノーベル平和賞を受賞したアメリカのマーティン・ルーサー・キング・ジュニア（キング牧師）の有名な言葉です。

**Take the first step in faith. You don't have to see the whole staircase, just take the first step.**

**疑うことなく、最初の一段を登りなさい。階段のすべてが見えなくてもいい。とにかく、最初の一步を踏み出すのです。**

本日ご列席いただきました保護者の皆様、そしてお忙しい中をご臨席いただきましたPTA関係者様、同窓会関係者様、学校評議員様に厚くお礼申し上げます。

本日はご入学まことにおめでとうございます。

#### 入学式次第

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 一、開式のことば | 一、PTA会長のことば        |
| 一、国歌斉唱   | 一、新入生代表のことば        |
| 一、新入生呼名  | 一、校歌披露             |
| 一、入学許可   | 一、閉式のことば           |
| 一、校長のことば | ※来賓紹介、祝電披露、関係職員の紹介 |

## 【在校生による協力】

- ・新入生入場時 演奏 吹奏楽部
- ・開会曲 創立 80 周年記念曲「Yes, I believe in you」  
部活動有志+吹奏楽部演奏+弦楽合奏部演奏で 100 名以上
- ・新入生呼名時 演奏 弦楽合奏部
- ・校歌披露 合唱部+有志+吹奏楽部演奏

今回も P T A 広報委員会に  
写真を提供いただきました



新入生代表のことは



校歌披露



開会曲（体育館の 2 階通路両側）



在校生による演奏



校長のことは



秦野高等学校 正門付近  
横断幕は「チアリーディング部全国優勝」